

【ペットの防災・地域の防災に関心のある方向けの公開講座】

減災教室

ペット編



飼い主の自助を促すために

「減災カテスト～ペット編～」を開発しましたのでお披露目します

大規模災害発生時、ペットに関連したトラブルは、避難生活を送る上で課題になります。避難所のルールとして、ペット不可と決められていても、連れてきてしまう飼い主がいたり、ペット可の場合であっても、マナーのない飼育によって周囲が迷惑することもあります。岐阜市の全自治会連合会を対象に実施した調査〔n=41, 回答率 82%, 2016 年〕※1では、避難所運営でのペットの処遇を決めている地区は約 5%にとどまっており、羽島市某地区の飼い主を対象とした調査〔n=403, 回答率 72%, 2016 年〕※2では、飼い主の 53%が避難所に連れていく、31%がわからないと回答しています。

飼い主は、特有の課題に備えて、日ごろからマナーを向上したり、備えを進める必要があります。一方、それを実現するためには、防災に携わる方や自治会等の自主防災組織が、ペットに関する防災の現状や特徴を把握すると同時に、効果的に飼い主に啓発していくことが必要です。

今回のセミナーでは、ペットに関する防災の現状について学ぶと同時に、地域での防災啓発や、学校での防災教育などで活用されている「減災カテスト」の〈ペット編〉を用いて、飼い主の自助を促すための方策を考えます。

※1 出典：東善朗・奥田順之・高木朗義、「ペット飼養者に特有の備えを促す啓発ツールの開発」、2018.9.24 防災計画研究発表会にて発表予定

※2 出典：東善朗・高木朗義、「住民アンケート調査を用いた防災課題に関するコミュニケーションの試行」、地区防災計画学会誌第9号、2017

ペット防災の専門家と、防災の専門家のお二人と、人とペットの防災について考えます！

研修講師 渡辺 英毅 氏

防災士/清流の国ぎふ 防災・減災センター げんさい未来塾 1 期
ペットホテル「セカンドハウス」代表取締役
NPO 法人人と動物の共生センター ペット防災委員長

ファシリテーター 高木 朗義 教授

岐阜大学工学部社会基盤工学科教授
岐阜大学地域減災研究センター副センター長
清流の国ぎふ防災・減災センター減災社会推進部門長

日 時：2018 年 7 月 29 日（日）19：00～20：30

場 所：みんなの森 ぎふメディアコスモス

かんがえるスタジオ

岐阜県岐阜市司町 40 番地 5

定 員：100 名

参加費：無料

主 催：特定非営利活動法人人と動物の共生センター

後 援：清流の国ぎふ防災・減災センター

協 力：一般社団法人 Do It Yourself



お申込みはこちらから

058-214-3442



NPO 法人人と動物の共生センター
(犬のしつけ教室 ONElife 内)

←QR コードから
←お申込み
←いただけます